

# 氷見市ゆれやすさマップ 速川地区

## ゆれやすさマップとは？

地形や地質の状況を考慮し、影響が大きいと考えられる地震について、震源となる活断層の位置や距離（長さ）、想定される地震の規模（マグニチュード）などの情報に基づき、ゆれの大きさを推計し、地図上に表現したものです。

『氷見市ゆれやすさマップ』は、氷見市全域を約50m四方（メッシュ）単位に分割し、そのメッシュごとに氷見市への影響が想定される「邑知潟断層帯で発生する地震」、「砺波平野断層帯西部で発生する地震」、「呉羽山断層帯で発生する地震」、「跡津川断層帯で発生する地震」、「庄川断層帯で発生する地震」、「全国どこでも起こりうる直下型の地震」について地表における震度を推計し、それぞれの地震の推計結果の中から『最大震度』を地図上に表現しています。

## 氷見市への影響が想定される活断層



**注釈：**ゆれやすさマップにおいて推計した震度は、あくまでも氷見市の地形・地質に基づいて計算した想定の結果であり、地震が発生した際に、必ずしもこのような結果になるとは限りません。

※『氷見市ゆれやすさマップ』は、「地震防災マップ作成技術資料（平成17年3月内閣府）」に基づき、作成しています。

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業復、第208号）」

活断層	地震規模
① 邑知潟断層帯（石動山断層など）	M7.6
② 砺波平野断層帯西部（法林寺断層など）	M7.2
③ 呉羽山断層帯（呉羽山断層帯）	M7.2
④ 跡津川断層帯（跡津川断層など）	M7.9
⑤ 庄川断層帯（加須良断層など）	M7.9
⑥ 全国どこでも起こりうる直下型の地震	M6.9

（地震調査研究推進本部資料より）  
※M（マグニチュード）とは、地震そのものの大きさ（規模）を表わす尺度です。

震度のめやす	
計測震度	震度階級
大	7
6.5	
6.4	
6.3	6強
6.2	
6.1	
6.0	
小	6弱
5.5	

地図記号の凡例	
◎	氷見市役所
●	収容避難所
⊙	消防本部
---	行政界
—	第1次緊急通行確保路線
—	第2次緊急通行確保路線
—	JR氷見線

**お問い合わせ**

**氷見市役所総務課**

〒935-8686 氷見市丸の内1番1号  
TEL: 0766(74)8021(総務課)  
FAX: 0766(74)4004(総務課)

